

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】 令和 6 年 6 月 21 日

評価対象事業		評価者	市街地整備課担当課長 山村 直人	
まち-03	大船駅周辺整備事業	■ 自治事務	主管課	市街地整備課
		法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	市街地整備	施策の方針	市街地整備の推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想」に基づいて、大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部、大船駅西口などの各地区において、都市基盤施設や都市環境の整備を推進するため。
効果	「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想」に定めた地区の将来像の実現を図る。

2 令和5年(2023年)度を実施した事業の概要

・大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部などの各地区のまちづくり基本方針等に基づき、指導や助言等を行った。	
・「砂押川桜保全再生計画」に基づく、住民主体の桜並木の保全再生活動の支援を行った。	
・大船駅東口第2地区市街地再開発事業区域内の下水道管未接続箇所における臭気問題の改善に向けた対策を進めた。	

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度	令和6年度	達成度
				指標(実績値／目標値)	指標(目標値)	
				事業費(決算／当初)(千円)	予算額(千円)	
01	大船駅周辺整備事業	大船駅周辺管理地維持修繕料、まちづくり活動支援専門員謝礼		- / -	-	
				24 / 324	450	
02	一般事務経費	消耗品費等		- / -	-	
				94 / 247	117	
		財源内訳	国県支出金	/		
			地方債	/		
			その他特定財源	/		
			一般財源	118 / 571	567	
		事業費の合計（千円）		118 / 571	567	
		人件費（千円）		10,634	10,910	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.4	1.3	1.4	1.4	1.4	
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	大船駅周辺整備事業	指標設定しない(本事業は、各ゾーンごとの大船駅周辺のまちづくり方針に基づき開発事業に対する指導や助言等を行っている。また、「砂押川桜保全再生計画」に基づく桜並木の保全再生活動については、地元ボランティア団体への支援を行うものであり、指標の設定に馴染まない)	大船駅周辺地区都市づくり基本計画(案)のあらましで示す、各ゾーンごとの大船駅周辺のまちづくり方針に基づき、地区内の開発事業に対してまちづくり方針への誘導を図ることは、大船駅周辺のまちづくりに寄与していることから、構成する事業としては妥当である。	①大船駅西口整備については、「横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)」の見直し等により、都市計画道路阿久和鎌倉線の整備主体の県への移管に向けた調整を行う必要がある。また、借地である大船駅西口交通広場の今後のあり方について、地権者と協議を行う必要がある。 ②下水道管未整備箇所への対応について、工事費の動向等をふまえ、検討を継続する。
02	一般事務経費	—	—	—

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある
	協働実施済	協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
事業区域内の環境整備について、関係者と協議等を行っていく。 松竹通りのまちづくりについては、鎌倉女子大学と連携し、学生の視点から魅力を感じる通りとなるよう意見交換を行っており、今後も改善に向けて取り組んでいく。 大東橋周辺のまちづくりについては、大船駅東口自転車等駐車場の橋りょうの改修検討に合わせて、大船仲通とグランシップとをつなぐ、より直線的な動線を確保するため、検討を行ってきており、引き続き、関係者と協議を重ねていく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標(単位)							単位
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--